

令和 6 年度 学生アンケート集計結果

【アンケートの見方】学生アンケートは、教育目標、学校運営、教育活動を中心にとったアンケートと各授業アンケートの2種類を実施し集計しました。令和6年度は、10月と12月にアンケートを実施しました。1回目のアンケートの後、特に気になる点は改善計画を作成し12月に改善されているかどうかの確認のために再度学生アンケートを実施しました。集計結果を次年度の教育課程の編成や学校運営に反映させるために、昨年度よりも早い時期に実施しました。

学生アンケートは、各項目の満足度を0～20%未満、20～40%未満、40～60%未満、60～80%未満、80～100%の5段階で回答するように作成しました。マイナス評価を各項目の0～40%未満の人数比率とし、プラス評価は、60%以上の満足度を得た人数比率としました。

【アンケート項目】アンケートの項目は次のとおりです。

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1 学校は楽しい | 2 本校に入学して良かった |
| 3 授業はわかりやすい | 4 学校は「豊かな教養」を付けようとしてくれる |
| 5 学校は「確かな技術」を付けようとしてくれる | 6 学校は「社会貢献活動」への参加を勧めている |
| 7 教育活動に魅力がある | 8 学校は、国家試験の準備に力を入れている |
| 9 学校は、各種資格試験に力を入れている | 10 学校は、各種コンテストや大会に力を入れている |
| 11 学校のホームページをよく見る | 12 高校等の後輩に本校への入学を勧めたい |
| 13 美容院やサロン等で、学校の良いところの話をしたい | 14 コンテストや大会に積極的に出たい |
| 15 レクリエーション大会を行いたい | 16 1年生と2年生の交流の場を持ちたい |
| 17 先生方は、学生のことを理解しようとしてくれた | 18 下校する時に、机やその周囲を片付けて帰った |
| 19 笑顔で挨拶ができた | 20 インスタグラム等で学校の宣伝をしてみたい |
| 21 公共マナーを大切にしている | 22 整理・整頓・清潔を実践している |
| 23 平日の練習時間延長、土日の練習日を利用した | |

【授業アンケート科目】

< 1 年生用 >

(24) 美術 (25) 技術理論 (26) 教養基礎1 (27) 保健 (28) 衛生管理 (29) 文化論 (30) 香粧品化学 (31) 教養2 (32) 実習AW (33) 実習アップ (34) 実習WD (35) 実習カット (36) 実習H(シャンプー) (37) 栄養 (38) 総合技術 (39) 実習メイル (40) 実習メイク・まつエク (41) エステ・着付 (42) 関係法規

< 2 年生用 >

(24) 美術 (25) 技術理論 (26) 教養基礎1 (27) 保健 (28) 衛生管理 (29) 文化論 (30) 香粧品化学 (31) 教養2・運営管理 (32) 実習AW (33) 実習アップ (34) 実習WD (35) 実習カット (36) 実習H(シャンプー) (37) 総合A～E (38) 選択S

アンケート項目の中で、満足度が60%以上のプラス評価をした項目は、次の項目です。

(※満足度60%以上のプラス評価をした学生が、70%以上の項目)

「8 学校は、国家試験の準備に力を入れている」 「9 学校は、各種資格試験に力を入れている」

「10 学校は、各種コンテストや大会に力を入れている」

この項目に続くものとしては、次のものがあります。

(※満足度60%以上のプラス評価をした学生が、50%以上の項目)

「1 学校は楽しい」 「2 本校に入学して良かった」 「4 学校は「豊かな教養」を付けようとしてくれる」 「5 学校は「確かな技術」を付けようとしてくれる」 「21 社会貢献に参加したい」

この結果から学校は国家試験や資格検定、コンテストでの入賞等の「確かな技術」や「豊かな教養」に力を入れることを学生が感じ取れていました。また、学生から「社会貢献に参加したい」という項目が50%を越えており、「お客様を人を喜ばせる」という美容師として大切な心構えが育ってきたと感じます。

更に、職員の毎日の玄関での挨拶運動による「学生理解」や授業中の声かけや授業改善、個別指導等に力を入れてきたことによって、親近感が生まれ「入学して良かった」「学校は楽しい」という満足度につながってきたと思われます。

今後の課題として、生活目標に設定した「整理・整頓・清掃」「笑顔で挨拶、ありがとう」の「公共マナー」につながる教育を日常から繰り返しの支援し、長いスパンで学生に浸透させるようにしたいです。また、「23 平日の練習時間の延長、土日の練習日」「6 学校は「社会貢献活動」への参加を勧めている」の項目が満足度50%に達しなかった点が上げられます。学生自身が技術の向上を望み、自主的に練習を実施していく機運を高めていくこと。学校からもっと社会貢献活動への参加を推奨していくことが必要だと感じられます。

授業評価も2回実施しました。実技に対する評価はとても高く満足していることがわかりました。座学については苦手意識がある学生が多い中で、1年生は19教科中15教科、2年生は15教科中8教科が50%以上の満足度でした。1回目の評価の後、座学については改善計画を作成し、短いスパンでしたが授業改善を実施しました。その結果、中間層の40%～60%の満足度が1年生は12教科、2年生は9教科に5～10ポイントの増加傾向が見られました。多少なりとも授業の改善計画作成に効果があったことがわかりました。実技教科については、2回のアンケートを通じて高い満足度が得られました。本校の職員がアンケート結果を重視し、生徒の実態に応じて授業の方法（到達度別学習、課題別学習、グループ学習、個別学習等）の学習形態を検討し改善している様子がわかりました。

今後の課題として授業の改善はもちろんですが、異学年集団で行う実技授業の実施や教え合い学習等のグループ学習を計画的に実施して「技術向上のために一生懸命やるのが格好いい」という意識を浸透させたいと思います。また、学生の実態を把握するために、学生自治会の発足や意見を聞く場を設定していくこと、その結果を職員全員が共有して対応していく必要性が感じられました。